

# GO! WEST!

第 5 号

地域学校協働チーム

## 第 4 回学校運営協議会

2月25日(金)に、今年度最後の第4回学校運営協議会を開催しました。その主な内容をお知らせします。

### 【報告 1 冬季間のバス停留所の除雪について】

- ・ 学校運営協議会委員やPTAの皆さんが働きかけ、区長・自治公民館長をはじめ地域の皆さんのご協力でも順調に進んでいる。ありがとうございます。

### 【報告 2 学校経営アンケート調査結果】

#### 1 西の杜小学校

##### 【まなびフェスト】

- ・ 保護者からは、子どもの様子や本校の教育について、大変良い評価をいただいている。
- ・ 児童も、自分たちはよく頑張っていると自信をもってよい評価をしている。
- ・ 毎日読書(1日10分以上)が課題。

##### 【5年学力定着度調査】

- ・ 国語・算数の定着度では、国・県レベルよりほとんど高いが、国語の読む領域が課題。
- ・ 質問紙調査では、地域によいところがあると100%の子どもが答えている。助け合い、よさを認め合える学級も96%、いい環境で学習ができています。

##### 【運動能力・体力検査】

- ・ 全国比では全般に低め。50M走が低い。反復横跳びとソフトボール投げは高い。

#### 2 紫波第三中学校

##### 【まなびフェスト】

- ①主体的に学ぶ生徒 授業が分かる、出来る、楽しいと感じている生徒が多い。家庭学習習慣の定着化が課題。
- ②奉仕の心をもつ生徒 進んで清掃・挨拶をしたり、困っている人を助けようという生徒が多い。
- ③健康で活力のある生徒 朝ごはんは100%欠かさず食べられている状態。学校では元気に過ごせている。  
県体力・運動能力調査5段階評価(A+B)が、70%を超えているのは非常に良い結果だ。

- ④家庭や地域での子どもの姿 概ねよい評価だが、家庭学習や読書、メディア利用、寝起きの時間を守ることを心配されている保護者があり、継続して指導をしていきたい。

### 【協議題 1 令和4年度学校運営方針】

#### 1 紫波西学園

- ・ **教育目標** 自ら未来を切り拓いていく人間の育成
- ・ **経営の重点の見直し(新規項目2点)**

- ①伝え合い、響き合い、高め合う授業を通して、自立的協働的・創造的に学ぶ力を育成する。
- ②特別支援のサブタイトル 一人一人に応じた指導・支援を充実させる。

##### ・特色ある教育活動

- ①信頼と安心の土台を築く「探求の対話p4c」
- ②主体性を育む「伝え合い、響き合い、高め合う授業」
- ③体験と対話で9か年を繋ぐ「ふるさと学習」

#### 2 西の杜小学校

- ・ **教育目標** 進んで学ぶ・心豊かな・たくましい児童
- ・ **経営の重点** 読書指導に力を入れる。表現力、読む力を高める。体力向上を図る。
- ・ **ふるさと学習** 地域の良さ、人材を積極的に取り入れ、たくさんの地域の人と関わりたい。

#### 3 紫波第三中学校

- ・ **教育目標** 主体的に学ぶ・奉仕の心をもつ・健康で活力のある生徒
- ・ 小中一貫に向けて カリキュラムマネジメント、コミュニティ・スクール、ふるさと学習の三本柱で、小学校と連携・継続して繋がっていく。

#### 4 令和4年度学校運営方針の承認

- ・ 委員の皆様からの主なご意見
- ① 中学部活の時間確保と指導の充実、地域の方々の指導・協力が必要だ。
  - ② 放課後の過ごし方の充実支援、放課後子ども教室のようなものはできないか。
  - ③ 小中一貫「ふるさと学習」、地域ができることを、積極的に応援していこう。

## 令和4年度紫波西学園運営方針の承認

出された意見を加味しながら運営していくということで、令和4年度紫波西学園運営方針について、全員一致で承認されました。

### 【協議題2 学校支援ボランティアの募集】

学校運営協議会では、令和4年度から、学校教育活動にご協力していただく「学校支援ボランティア（学校応援団）」を募集することとしました。このボランティアは、西の杜小学校や紫波第三中学校の児童・生徒のために役に立ちたいと思う人が、子どもたちの健やかな成長のために「出来る時に、出来ることを、出来る方法で」行うボランティア活動です。

ボランティアの方々には、ご自身の特技や趣味、経験や余暇を活かしながら、先生方や子どもたちと一緒に活動していただきたいと思っています。

今月中に、地域全戸に募集チラシを配布しますので、よろしくお願ひします。

## 6年生を送る会



2月25日（金）3校時に6年生を送る会を行いました。当日に向けて、各学年が役割分担し、準備を進めてきました。1年生はプレゼント作り（首飾り）、2年生は会場飾り付け用花作り、3年生は招待状作り、4年生は似顔絵作り、5年生は会場準備、飾りつけを行いました。6年生に喜んでもらおうと一人一人が心を込めて取り組みました。

当日は感染症対策として、全校では集まらず、6年生だけが体育館で待機し、学年毎に入れ替わりで感謝の発表を行いました。（他の学年の発表については、オンラインで視聴しました。）どの学年も工夫を凝らした楽しい発表に、6年生からはたくさんの笑顔が見られました。6年生からは、各学年へのメッセージのプレゼントとお礼の発表が行われました。ダンスの発表は会場を盛り上げました。感謝の気持ちがたくさん見られた、とても素敵な会でした。

## 紫波三中米 販売の準備完了！

紫波三中の2年生は、1年間かけて米作りを行っています。地域にお住いの新里哲之さんの田んぼをお借りして、春に田植え、そして草取りを行い、秋に稲刈り。そして12月8日、出来上がった米の袋詰め作業を行いました。新里さんからご指導を受け、米の量を量り、袋にどんどん入れていきます。出来上がった米は、12月18日に東京都・日野市で販売されます。2年生が心を込めて作った「紫波三中米」。日野市の多くの方々に食べてもらえるといいですね。



## 日野四中との生徒会交流

12月18日、紫波町の姉妹都市である東京都日野市の日野第四中学校と紫波第三中学校との生徒会交流を行いました。紫波三中では一昨年度まで、修学旅行で日野市を訪れ、自分たちが作った米を販売し、その時に生徒会交流を行っていました。しかし、新型コロナウイルス感染症のために、昨年度から東京に行くことはできず、そのためパソコンを介したリモートでの生徒会交流を行っています。今回はその2回目でした。

この日、日野市では、予め郵送した紫波三中米を、地域の方々に販売しました。そして、同時に生徒会交流をしました。紫波三中では、米作りを行った2年生の生徒会執行部、そして学年執行部の生徒が集まりました。

日野市と紫波町を結ぶ「異聖歌について」や、「米の種類」などについて、お互いに発表をしました。例年通り紫波三中米は大人気で、あっという間に売れたようです。

新型コロナウイルス感染症は、まだまだ終息しそうにありません。日野四中とのこれからの交流について、改めて考え話し合っていかなければならないと考えます。

